

様ID:診療科:外科主治医:日付○/□

オキサリプラチン+カペシタビン療法◎1日目にオキサリプラチン点滴と1日目タ～15日目朝カペシタビン内服の治療薬を使用します。
◎治療は3週間を一区切り(1サイクル)として行います。

＜スケジュール＞

		コース目		日目		オキサリプラチン		mg +		カペシタビン		mg(1回		mg1日2回)	
日付	日数	○/□	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
オキサリプラチン カペシタビン	1														
	2														

＜副作用と現れやすい時期＞

日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21										
アレルギー症状	▶ 治療開始から息苦しさ・胸の苦しさ・発疹など																														
静脈炎(血管痛)	▶ 血管の痛み、違和感																														
白血球減少(免疫力の低下)	38℃以上の発熱、悪寒、のどの痛みなど																														
血小板減少(出血傾向)	出血・あざ																														
吐き気・食欲不振																															
下痢																															
口内炎																															
脱毛																															
冷感によるしびれ	治療の終了後、半年程度で生えそろうことが多い																														
掌・足裏の赤み、ひりひり感																															

起こりやすい:しびれ感、食欲不振、吐き気、疲労感、手足の皮膚異常
時に起こる:白血球減少、口内炎、貧血、肝機能異常、腎機能異常
まれに起こる:血小板減少、便秘、むくみ、味覚異常、間質性肺炎など

副作用に対しては、症状の現れ方にあわせて症状を和らげる治療を行うことがあります。
また、症状が強く、治療を継続することが困難な場合は、治療薬の減量や一時中断、あるいは薬の変更をすることもあります。

◎本日の検査結果		◎副作用の状況	
値	グレード	グレード	
白血球数	×10 ⁹ 個/μL	白血球減少:	
好中球数	×10 ⁹ 個/μL	好中球数減少:	
血小板数	×10 ⁹ 個/μL	血小板数減少:	
血色素量	g/dL	悪心:	
		嘔吐:	

副作用のグレード(重症度)について
0:症状がない
1:軽い症状はあるが治療は必要ない
2:中程度の症状があり、治療が必要
3:緊急性はないが、重い症状があり入院などの治療が必要
4:緊急の処置が必要
有害事象共通用語規準v5.0日本語訳JCOG版(CTCAEv5.0-JCOG)